



九条の会. ひがしなだ ニュース

第 154 号

2022年
10月27日

事務局 西谷利文 Tel 080-1485-5603 E-mail nishi-t@hm.h555.net

FK 元弁護士の“ここがポイント”

バイデン政権の「国家安全保障戦略」

深草 徹



アメリカが10月12日公表した外交・安全保障分野の基本方針となる「国家安全保障戦略」には以下のようなことが書かれています。

- ・ 中国は国際システムを再形成する意図と能力を持ち、そのためのより大きな経済力、外交力、軍事力を持っている唯一の競争相手である。
- ・ ロシアは過去10年間、帝国主義的な外交政策を追求。国際社会の平和と安定に直接かつ持続的な脅威をもたらしている。
- ・ 中国とロシアは、ますます協調している。

少し深読みかもしれませんが、①中国は異なる体制・システムにより世界を主導する能力のある大国でありこれとは対決する、②ロシアは乱暴者でけしからん奴だが同じ仲間属するのでどやしつけてでも仲間にとどめ置く、③ロシアと中国を切り離すことが必要だ、と言っているようで、冷戦思考が前面に押し出されているように思われます。

ロシアの無法な行動を憎み、冷戦思考を捨て、中国も含めて国際法・国連憲章による法の支配、立憲主義を確立し国連の集団的安全保障を再度築きなおすことに協力することを「国家安全保障戦略」の重点課題にして欲しいものです。そうすれば中国はロシアから離れ、ロシアは完全に孤立し、無謀な侵略戦争をやめざるを得なくなるでしょう。

(深草憲法問題研究室主宰、九条の会ひがしなだ筆頭代表世話人)

国葬・酷葬・黒葬?! の陰で!

横林賢二



9月27日、「国葬」が行われたその陰で岸田首相は新型原子炉の開発を進めています。9月29日、関西電力、北海道電力、四国電力、九州電力と4社で新型原子力発電の建設を検討する事を打ち出した岸田首相方針が報道されました。(9月30日神戸新聞 写真は三菱重工業提供)

1955年10月、中曽根元首相は国会の原子力合同委員会の委員長に就任した後、国策としての原発が次から次と建設されてきました。「安全神話」が消えて10年、「いつか来た道」を繰り返そうとしています。

それも2030年代の話。老朽原発の再稼働と新型原発の開発。それは私たちの子や孫に大きな汚点を残す事になります。「フクシマ原発事故」の反省もせず進めようとしています。「原発」より「自然エネルギーの開発」に注ぐべきではないでしょうか。

熟年者ユニオン 73歳

10月3日

“” 目からウロコの歴史教科書カフェ “の続きで 神戸・東灘に新しいサークルができました！！

小川 碧

西宮で好評だった「目からウロコの教科書カフェ」に参加していた人たちが、「もっと学びたい」と、東灘で新たなサークルを始めました。

今度は、子育て真っ最中のママ達も、「戦後史を知りたい」と・・・。

神戸市の中学校は、「帝国書院」の教科書を使っているの、こちらは自主編集の「学び舎」版。「育鵬社」版などとも比べながら、学んでいきます。

ちなみに、自主性を尊重し、超有力進学校で知られる灘中学なども同じ教科書。どなたでも参加できますので、お気軽にどうぞ。

当面のテーマ（単元）は、「焼け跡からの再出発～占領と日本の民主化」。

会場は、阪神魚崎駅下車、線路に沿って北側を西へ2～3分。魚崎西町会館の2階会議室です。参加協力費は1回500円です。

お問い合わせは、携帯電話090-2572-2976（北嶋）まで、お気軽にどうぞ。

（元小学校教員）

今も残る戦跡を訪ねて

10月10日、戦争展の会が主催

山本 優

10月10日（月・祝）に、“兵庫の「語り継ごう」戦争展”主催の戦争遺跡巡り～神戸市中央区の戦跡を訪ねて～に参加しました。今回で20回目を迎える戦争遺跡巡りには20名程度の方が参加し、そのうち7名は今年度中に生徒・保護者を対象にしたフィールドワークを計画している神戸市立小・中学校の先生方でした。（私が呼びかけて参加してもらいました。）先生方にとって、十分勉強になる戦争遺跡巡りとなりました。

まず大倉山公園にある解放運動無名戦士の碑と伊藤博文像の台座を見学しながら、戦時中この公園に設置されていた高射砲に思いを馳せるところから始まりました。その後関帝廟・中央労働センターを経て、神戸教会に今も置かれている空襲で被弾した敷石を見学し、花隈城天守閣跡がある福德寺に来ました。この石垣には、機銃掃射の跡とも見える痕跡が見られたので、またの機会に調べてみたいと思います。その後「平和の美海ちゃん」像のあたりからあいにくの雨模様となりましたが、すぐに近くの「戦没した船と海員の資料館」に入館できました。何度か見学させていただいている資料館でしたが、徴用された船が零戦などの大きな物資も運搬していたなど、今回も新たな発見をすることができました。

最後に商船三井ビルの弾痕を見学して遺跡巡りは終了となりました。

日本での戦争が終わって77年がたった今でも、戦争の跡を街角に見つけることができます。これらの遺跡が時代を超えて平和の大切さを伝える物として引き続き保存されていくことを切に願います。

（神戸市立中学校教員）



関帝廟・中央労働センターにて

改憲判断は国民が決めること

片岡英夫



改憲勢力側から現行憲法は「押し付け憲法だ」とよく言われます。実際はそうじゃないようですが、百歩譲って米国から押し付けられたものとしませう。だけど、押し付けた当の米国が冷戦期から「九条を改正して軍隊を持って」言ってくるのに「人に押し付けておきながら、自国の都合で『それを改めよ』とは何事か！」と一喝するのならいざ知らず、次期がくれば改憲しようとして、改憲を党是に掲げるとするのは論理的に矛盾するのではないのでしょうか。つまり、憲法制定時に押し付けていた非武装主義を180度転換する要請がなされているのに、「改憲の押し付けだ」と一切言わないところに矛盾が生じるという事です。ともかく主権者である国民が「押し付け憲法」と感じるか、感じないかが一番大事な事であり、自民党という一政党の感覚で判断すべきではありません。したがって、改憲すべきかどうかは国民が決めるべきです。

(元高校教員)

映画案内

神戸映サ、女性監督の例会作品が続きます

桑田葉子

12月例会『レディ・マエストロ』。監督・脚本ともマリア・ペーテルス。

女性が指揮者になるという〈夢〉を見ることさえ許されなかった時代に、自らの手でその〈夢〉をつかんだ一人の女性がいた。1930年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の指揮者としてデビューした、アントニア・ブリコだ。養父母は貧しく音楽学校に入るお金もなかった彼女が、いったいどうやって指揮者になれたのか？ 一歩前へ進むたびに出現する高く険しい壁を、ひとつひとつ乗り越えて行ったアントニア・ブリコのはるか遠い道のりをたどる、勇気と感動と驚きに満ちた実話の映画化。



1月例会『ミス・マルクス』。監督・脚本ともスザンナ・ニツキャレツリ。



カール・マルクスの末娘で、女性や子ども、労働者の権利向上に生涯を捧げた活動家エリノア・マルクスの激動の半生を描く。労働者の権利向上のため闘うエリノア。女性であるということがハンディキャップとなった時代、それをものともせず突き進む彼女の姿が力強く描かれる。一方で女性という立場で苦しむ姿も併せて描かれ、女性の人権というものを考えさせられる作品となっている。彼女の苦しみを、ロックを使って表現する斬新さもユニークで面白い映画。

(神戸映画サークル協議会委員長)

障がい者の勤労の権利の実現を


関本（市川）英恵

職場で使っていたキットパスという筆記具について調べていたところ、キットパスアートインストラクターの養成講座があると知り、受けました。そこで、キットパスを製造している日本理化学工業株式会社の障がい者雇用の取り組みについて知り、感動しました。



日本理化学工業は、全従業員 90 人中 63 人が知的障がい者の、チョーク製造を主とした会社です（2022 年 2 月現在）。経営理念には「徹底的に障がい者雇用にこだわり、よりよい皆働社会の実現に貢献していきます」とあります。元会長・大山泰弘さんは、人は仕事をする事で、人の役に立ち、生きている喜びを感じることができる、家や施設では、こうした喜びを感じることはできないと、憲法第 13 条幸福追求権、第 27 条勤労の権利と義務の実現を求めておられました。日本理化学工業のように健常者と障がい者が助け合う会社が増え、まだまだ低い障害者雇用率が改善することを願います。

（「憲法の歌」 作詞者）



アベ国葬山柳

小川嘉憲

声を聞け 国葬軍拡 みな反対

国葬ノー 国会前に 4000人

平等と 自由・民主の ない国葬

実績は モリカケサクラ 壺五輪

国葬ノー 増えて支持率 また下がり

始めたら 戦争国葬 止められず

アベ国葬 招待状でも 分断し

民主主義 守ると言って 議会無視

国葬に かける何億 被災者に

国葬の 後に医療費 二倍来る

（年金者組合西宮支部長）

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6

番号 217129

名義 九条の会. ひがしなだ

編集後記

物価高騰が止まらない。原因のひとつは、円安、アベノミクスの「異次元の金融緩和」にあることは明らかなのに、黒田日銀総裁はそれを認めず、ゼロ金利を改めようとならない。止めるに止められないのかもしれないが、「後は野となれ山となれ」ではあまりにも無責任ではないか。

（N生）